

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2019年(令和元年)7月1日 《年6回・奇数月発行》

会報 第107号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】[カンボジア支援](#) [検索]

【公式ブログ】[メコンの風に吹かれて](#) [検索]

史上初の10連休が終了後の5月9日から24日まで、カンボジアに滞在した。今年になり4度目の滞在。日本も祝日が多いと思ったが、カンボジアの5月は日本の比ではなかった。1日=労働者の日、13日~15日(3日間)=国王誕生日、18日=国王の母の誕生日、20日=18日(土曜日)の振替休日、22日=農業祭とまあこんな具合。勿論土・日は休みなので、月の半分程度が休日だった。

この通りに休んでいたら、何のためカンボジアに来たのか分からなくなるので、現地スタッフには無理を言いついた。普ノンペン名物の道路冠水もあちこちで発生、その都度車が渋滞していた。

観光客には辛い雨だが、農民には欠かせない恵みを降っていた。普ノンペンの農業なので、降らないと田植えが雨。なにせ雨頼みの農業なので、降ないと田植えが

できない。

前回の会報でも書いたが、停電と断水が相変わらず続いている。大量に電力を消費する都市部はパニックに近い状態。ホテルやレストランは自家発電機を持っているが、一般家庭はそうはない。カンボジア人は我慢強い。

こういう時に強いのが、電気や水道に縁がない地方での暮らし。どこ吹く風とばかりに、田舎ではのんびりと暮らしていた。これが自然の姿なのかも。

今度の滞在で最も衝撃を受けたことは、初代カンボジア特命全権大使を務めたトゥロン・メアリー氏が2年前に逝去されたのを知らされたことだった。80歳を超える年だったことでカンボジア人としては長寿になるのだろうか。

4年ほど前、普ノンペンで食事をしたのが最後だった。ご冥福を祈りたい。



普ノンペン名物の道路冠水

日本も多いがカンボジアも多い祝日にまいつた!

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長

根岸恒次

日本の皆さん、私たちに会いに来てください!



お待ちしてます!

特に内陸部の貧しい村にある「プレチーク小学校」(生徒数=600人)では、生徒たちの中から55人の貧しい子どもたちを教育支援している。教育里親は勿論のこと、一般会員さんもそれに参加することができる。年3回催行する「夢ホーム・里子訪問の旅」では、教育支援する里子との交流の場を設けています。教育里親は勿論のこと、一般会員さんもそれに参加することができる。奮って参加していただきたい。



大人気の滑り台

5月11日、根岸理事長と現地スタッフらが「トロパンアン小学校」(コンボンスプー県ボセット郡、生徒数=288人)を訪問、「二本松ロータリーカラブ」(福島県二本松市)が贈ったトイレ棟と遊具の贈呈セレモニーを行った。

5月11日、根岸理事長と現地スタッフらが「トロパンアン小学校」(コンボンスプー県ボセット郡、生徒数=288人)を訪問、「二本松ロータリーカラブ」(福島県二本松市)が贈ったトイレ棟と遊具の贈呈セレモニーを行った。

「二本松ロータリークラブ」とトイレスケープ寄贈

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば74年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

*お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さん、ありがとうございます

【教育里親会員】子ども1人につき 1年間3万円。

・内訳

子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)

年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)

・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。

・一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらも可。

所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

今年もサッカーボールと鍵盤ハーモニкуを寄贈

ボランティアグループ「ともしび」(東京都狛江市、岡本浩史代表)より、今年もカンボジアの子どもたちにサッカーボール(11個)、ピアニカ(10台)が贈られた。

サッカーボールは、視聴覚しようがい児の学校「クルオサータマイ」(プノンペン市、生徒数=200人)、児童養護施設「夢ホーム」、ソムブル小学校(コンポンスブー県、生徒数=320人)に贈られた。

ピアニカは、上山陽子さん(奈良県、里親会員)が音楽指導している「ソムブル小学校」に贈られた。



「クルオサータマイ」の子どもたち

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスブー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆さまのご厚意により2009年3月に開園しました。

現在11歳～15歳の男女8人が暮らし、近隣の小・中学校に通学しています。



「しゃぶしゃぶレストラン」で楽しい食事会

■5月17日～19日、稻吉忠様(三重県、里親会員)が2泊し、子どもたちと交流した。

19日には、レンタカーを借りて子どもたちをプノンペン市内の「しゃぶしゃぶレストラン」に招待してくれた。

■5月23日、村西宏章様(千葉県、里親会員)が訪問、支援する里子と買い物に行ったり、夕食時、近くのレストランに子どもたちを招待してくれた。

■ケム・ロッターちゃん(15歳)が退園、祖母と一緒に暮らすことにになった。通学を断念し、縫製工場に就職した。

ノップ・ヴィサールさんのその後

以前、本会が開催した「カンボジア語講座」や「カンボジアセミナー」の講師として活躍したノップ・ヴィサールさん、日本での留学生活を終え今年の2月、カンボジアに帰郷した。既に結婚し、今はカンボジア情報誌「ニヨニユムカンボジア版」の編集部に就職、活躍している。

これからも本会の現地事務所アドバイザーとして、指導してくれるこ



結婚したノップ・ヴィサールさん(中央)

カンボジアの小学校に2つの井戸が完成

5月11日午前、「平和かそけしF川崎・秋田」様が「アンロムトーン小学校」(コンポンスブー県ボセット郡、生徒数=618人)に寄贈した井戸の贈呈式を行った。

その日の午後、松原睦美様(北海道函館市、会員)が「セレイソーポワン小学校」(コンポンスブー県ボセット郡、生徒数=566人)に寄贈した井戸の贈呈式を行った。根岸理事長と現地スタッフが式に出席した。



松原睦美様 寄贈の井戸



「平和かそけしF川崎・秋田」様 寄贈の井戸

5月に完成した井戸の内訳

	寄贈者名	学校名	生徒数	所在地(県名)
1	平和かそけしF川崎・秋田 様	アンロムトーン小学校	618人	コンポンスブー県
2	松原 睦美様	セレイソーポワン小学校	566人	コンポンスブー県

※通算の井戸設置数(2003年～)：337基(5月現在)

井戸は一基20万円(ネームプレート付き)で完成します。
井戸を贈ってくださる方は本会事務局へ。(☎03-3991-2854)

図書とサッカーボールを寄贈

2014年、ソカーオン小学校(コンポンチュナン県、生徒数=100人)に校舎を寄贈した佐々木テルさん(宮城県、会員)が、同校に図書とサッカーボールを寄贈した。5月16日、根岸理事長と現地スタッフが、同校を訪問し届けた。



図書とサッカーボールを寄贈しました

教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを会報紙面で紹介いたします。支援してくださる方は、子どもの名前を添えて本会事務局までご一報ください。なお、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見える、マンツーマン方式の教育支援です。

☎03・3991・2854



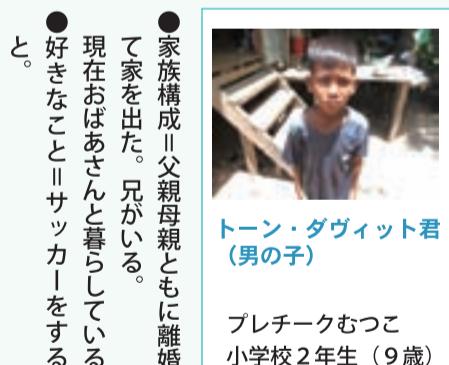
ワナ・ソリヤちゃん
(女の子)



ワナ・ソックエンちゃん
(女の子)



トン・ダヴィット君
(男の子)



プレチークむつこ
小学校2年生(9歳)



ウーン・ソックエンちゃん
(女の子)

何を売っているのでしょうか?



※6人が通学する「プレチークむつこ小学校」は、プノンペン市内から車で約2時間半で、日本が寄贈した「小さな橋」の近くの、とても貧しい村にあります。2015年、本会が校舎(5教室)を寄贈しました。

プレチーク郊外のマーケットなどによく見かけます。見た目はグロテスクですが、食べてみると意外に美味しいそうです。
(答えは4面下段、事務局便りにあります)

●好きなこと=本を読むこと。
●家族構成=父親は離婚して家を出た。母親はいるが出稼ぎに出ている。弟と妹がいる。現在おばあさんと暮らしている。

ウーン・スレイダエットちゃん
(女の子)
プレチークむつこ
小学校3年生(11歳)

●家族構成=父親母親ともに離婚して家を出た。姉が一人。現在おばあさんと暮らしている。

オーン・カンニャーちゃん
(女の子)
プレチークむつこ
小学校2年生(9歳)

●家族構成=父親母親ともに離婚して家を出た。兄弟はない。現在おばあさんと暮らしている。

ワナ・ソリヤちゃん
(女の子)
プレチークむつこ
小学校2年生(10歳)

●家族構成=父親母親ともに離婚して家を出た。兄がいる。現在お母さんと暮らしている。

トーン・ダヴィット君
(男の子)
プレチークむつこ
小学校2年生(9歳)

●家族構成=父親死亡、母親のみ。兄と妹がいる。現在お母さんと暮らしている。

ウーン・ソックエンちゃん
(女の子)
プレチークむつこ
小学校3年生(13歳)

音楽指導する上山陽子さん



5月28日～6月6日、上山陽子さん(奈良県、里親会員)がカンボジアを訪問、「ソムブル小学校」でピアニカによる音楽指導と、併設幼稚園で遊戲指導を行いました。

5月18日～25日、村西宏章様(千葉県、里親会員)がカンボジアを訪問、根岸理事長に滞在してご自身の里子訪問、「クルオサータマイ」訪問、「夢ホーム」を訪問して、子どもたちと交流しました。

5月15日～20日、稻吉忠様(三重県、里親会員)がカンボジアを訪問、「夢ホーム」に滞在して子どもたちと交流、5人の教育里子を訪問し、里子を激励しました。

4月3日～6日、石川桂様(愛知県、里親会員)がカンボジアを訪問、「トロバントム小学校」で文集作成の活動を行いました。

関連活動アラカルト

里子へのプレゼントは 隨時受け付けています

- 里子へのプレゼントは、原則として奇数月のカンボジア訪問時に里子へお届けします。(9月のみ、訪問がありません)
- 偶数月の月末までに送金又は手土産を事務局まで送っていただきますと、翌月の訪問時にお届けすることができます。
- 諸事情で翌月里子にお届けできない場合がありますが、その際は次の奇数月のお届けになります。予めご承知ください。
- 手紙のみもお届けしますが、少しでもプレゼントがあると里子が喜ぶと思います。

現地購入（プレゼント代を振込票にてご送金ください）

・自転車（中古品） 7,500円
・お米（50キロ入り） 4,500円
・Tシャツ2枚＆サンダルセット 2,000円
・本（絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊） 1,000円
・お菓子セット（お菓子の詰め合わせ） 1,000円
・文房具セット（ノート、筆記用具等） 1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。

※里親様が現地へ行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

◆日本から持参（事務局宛てにお送りください）

・空港からの持ち出しに重量制限がありますので、レターパッククやA4サイズの封筒に入るくらいまでのサイズでお預かりします。

投稿 またすぐに行きたくなる不思議な国

今年3月のカンボジアを、平成最後の年にサークル仲間の友達4人で参加し、楽しんできました。

私は、今は亡き夫と2003年（平成15年）から里子訪問して、その時からカンボジアに魅せられ、カンボジアにはまって今に至りました。

2年ぶりに行き、何もかも激変した首都プノンペンと地方との雲泥の差を感じました。

地方で差を感じたのが、何人かの里子訪問のことです。

同じ境遇なのに、かたや板だけの粗末な高床式の家、トイレは庭の隅に穴が掘っているだけ。かたやコンクリートの立派な家はお店で、日用品、雑貨などを売り、驚いたのは、電化製品が揃いミシンが2台、ロックミシンが1台あり、洋服仕立店かな?と思うほどでした。

え? 支援する必要ある? 支援の基準は? 支援する意味は? と頭の中は? だらけでした。



里子訪問しました

眞の支援を待っている子供が沢山いると思います。

これから何回訪問できるかな~?と思いつつ、またすぐに行きたくなる不思議な国です。

里親会員
園田美代子（群馬県在住）



フェリー乗り場

少なくなるフェリー

久しぶり乗つてみた。いずれここにも橋ができる予定とのこと。ひと昔前カンボジアに沢山ボジアに沢山ボジアでいっぱい。お寺ではないが、仏教徒が多いカンボジア人の憩いの場になっている。

仏様の丘
最近できた観光名所「プットキリ」（仏様の丘・タケオ県）が人気。プノンペンから車で2時間以内で行けるとあつて、休日は参拝するが次々と完成し、徐々に姿を消しつつある。プノンベン市内から、メコン川を横切るフェリーに

新観光名所が人気

長い間修復工事中だった日本橋（トンレサップ川にかかる橋）が4月に完成した。日本の無償援助で20年以上前に造られたプノンベンと郊外を結ぶ重要な橋だが、交通量が増えた。老朽化したため修復工事を行い、もう一本架かる中国援助の橋のみで通行している。



日本橋

日本橋が完成

長い間修復工事中だった日本橋（トンレサップ川にかかる橋）が4月に完成した。日本の無償援助で20年以上前に造られたプノンベンと郊外を結ぶ重要な橋だが、交通量が増えた。老朽化したため修復工事を行い、もう一本架かる中国援助の橋のみで通行している。

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方ないこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方ないこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方ないこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本橋

予防注射

コソボンチユナン県の小学校を訪問した。校内で予防注射を行っていた。2歳以下の乳幼児を対象のマラリアやデング熱の予防注射で、無料で行っているといふ。いやがる子どもを見るに可哀そうになるが、一時の我慢で予防できるのであれば仕方うこと。



日本

「カンボジアフェスティバル2019」に出展

5月3日～4日、令和元年を迎えてお祝いムードの中、代々木公園(イベント広場)で開かれた「カンボジアフェスティバル2019」に出展した。4年連続の出展。

両日とも好天に恵まれ、多くの来場者でにぎわった。カンボジア製品も飛ぶように売れ、活動資金獲得に貢献した。広報活動も熱心に行い、新規会員を1名獲得できた。

両日通じて、延べ20人以上の会員さんがお手伝いしてくれ、大いに盛り上がった。



盛況でした

2019年度 夢ホーム里子訪問の旅 年間日程表

回	成田出発日	成田帰国日	申込期限
終了 第⑪回	2019年 3月7日(木)	2019年 3月13日(水)	2019年 2月7日(木)
第⑫回	2019年 7月4日(木)	2019年 7月10日(水)	2019年 6月4日(火)
第⑬回	2019年 11月7日(木)	2019年 11月13日(水)	2019年 10月7日(月)

本会の会員状況をお知らせいたします (2019年5月末日現在)

- 教育里親会員 262名
- 個人会員 103名
- 団体会員 7団体
- 寄付協力者(単発) 59名

合 計 431名

書き損じハガキ・未使用切手 ・商品券等をお送りくださいませんか

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

- 学生団体企画のサッカー大会に本会が教育支援する小学校2チーム参加
- 会報「アンコールワット」7月1日付け第107号発行
- 第42回「夢ホーム・里子訪問の旅」(7月4日～10日)
- 7月～8月の予定

事務局便り

■ 第42回「夢ホーム・里子訪問の旅」は、7月4日から10日までの日程で、一部参加者含む10人の会員さんが参加いたします。7月のカンボジアは雨季で、日本の気候とあまり変わらないため、参加者数は今一つですが、元気よく行つてまいります。早いもので、今年も半年が過ぎました。活動も後半戦に入ります。一人でも多くの皆様が本会の活動を理解してくださり、会員になつて頂けた幸いです。

■ 2面「何を売っているのでしょうか?」はクモ(カンボジアではアピント)といいます)が正解です。日本では食物の対象外ですよね!

春さんのカンボジアレポート ~カンボジアの王室農耕祭~

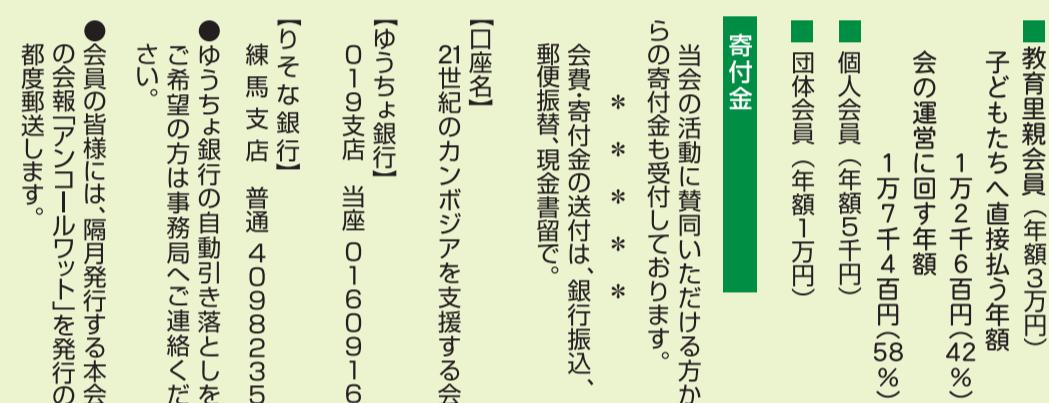
カンボジアは祝祭日が年間30もある国で、とりわけ5月は7日もあります。その中に、王室農耕祭があります。

今年は5月22日にタケオ州で行われました。国王が臨席され、王室で飼育されている聖牛を、7種類の食べ物(コメ、トウモロコシ、豆、ゴマ、草、水、酒)を銀器に並べたところに聖牛を連れて行き、何を食べるかでその年の農業の吉凶を占います。



今年は、コメ(85%)、トウモロコシ(90%)、豆(85%)をそれぞれ食べたため、これらの作物のちょっと良い収穫が期待されるとのご託宣。ちなみに草は「牛疫」、酒を飲んだ時は「戦乱」、水は「洪水」の吉凶と言われています。

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)



活動に参加しませんか

投稿 カンボジアの旅 2019



ろう画を教えました

た。同行したアーチストの阿部さんは、子供達の顔を描いてプレゼントし、大喜びされました。

ホームには、保母さん、保父さんがいるそうです。男子のハウスと女子のハウスに分かれています。外部からの来客の方がこのホームに宿泊するような時には、1泊食事付きで10ドルだそうです。

それにしても、根岸理事長は何もない更地だったような土地から、よくもこれだけのものを作ったものです。根岸理事長とお会いするのは、なんと30年ぶりのことだったのですが、その間に、これほどまでの事業を成し遂げていたことには、本当に驚きました。

今回のカンボジアの旅に混ぜていただき、数々の想い出を作れたことは、とても幸せなことでした。また、カンボジアへ行く機会を持ちたいです。

会員 七宝工芸作家 斎藤芳子(群馬県在住)